

# ジェネリックスキル まるねがりガイド

1

未来に必要な力を伸ばそう

# これからのあなたたちに 求められる“チカラ”を身につけよう

これまで高校生活での自分の力を知る大きなものさしは  
国語や数学、英語などの「**教科学力**」が中心でした。  
スポーツにたとえると、この教科学力は  
いわば「足腰の強さ」などの「**基礎体力**」に相当します。  
これまでは、高校時代にこれらの基礎体力を身につけておき、  
大学での学びを通じて、また社会に出てから  
「**応用力**」を身につければよい時代でした。

ところが今、みなさんは「**変化の時代の真ただ中**」にいます。  
テクノロジーの変化はもちろんのこと、さまざまな分野で  
激しい変化が起こり世の中のしくみがどんどん変わっていく、  
そんな新しい時代の“正解”は誰にもわかりません。  
そのため、これからの時代を生きるみなさんには「基礎体力」だけでなく、  
得た知識を総動員して自分の頭で考え抜くことや、  
人々と協力して問題を解決していく**総合的な「応用力**」を、  
高校時代から身につけていくことが求められています。

「**学びみらい PASS**※」は、そのための“チカラ”を確認するテスト。  
そして、この「**ジェネリックスキルまるわかりガイド**」には、  
その力を伸ばすためのヒントが書かれています。  
ぜひ、活用して、これから求められる“チカラ”を伸ばしていきましょう。

\*PASS = Personal Assessment System for Students



## ヒヤック

百人百様がモットーのクジャクの先生。自身の羽のごとく、生徒の未来を広げるのが得意。生徒の未来が見えた時に、羽の色や柄が変わるとの噂。「はばたき部」現顧問。

# Contents

扉の向こうにあるのは、あなたの新しい可能性！ .....	3
あなたの“チカラ”を 多面的に測定する「学びみらい PASS」 .....	5
今のあなたの能力を“花のカタチ”で示します .....	7
“ジェネリックスキル”を伸ばそう！ .....	8
リテラシーを伸ばそう！ .....	10
情報収集力 / 情報分析力 / 課題発見力 / 構想力	
コンピテンシーを伸ばそう！ .....	17
対人基礎力：親和力 / 協働力 / 統率力	
對自己基礎力：感情制御力 / 自信創出力 / 行動持続力	
対課題基礎力：課題発見力 / 計画立案力 / 実践力	
未来を考える方法 .....	29
未来を考える意味	

mission

1

## 「情報収集力」を伸ばそう!

情報収集力は、文字通り情報を収集する力のことですが、ただ集めればよいというわけではありません。課題の発見や解決などの「目的」に向けて、幅広い視点から確かな情報源を見定め、**集めた「信頼性の高い情報」を「適切に整理して保存」**する力のことをいいます。

### 情報収集の達人になると……

- いろんな検索手段の特徴を知っている!
- 目的に応じた検索方法や情報源が使える!
- 調べた情報を整理・保存できる!
- 情報の信頼性を判断できる!

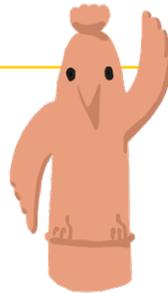
### 情報収集力が低いとこんな事態に!?

たとえば、授業で……  
「公共」の時間に、地域の文化について調べてレポートを書くことになり、インターネットで見つけた情報をもとに発表したら、先生から「それは史実と違うぞ」と言われてしまった。

?

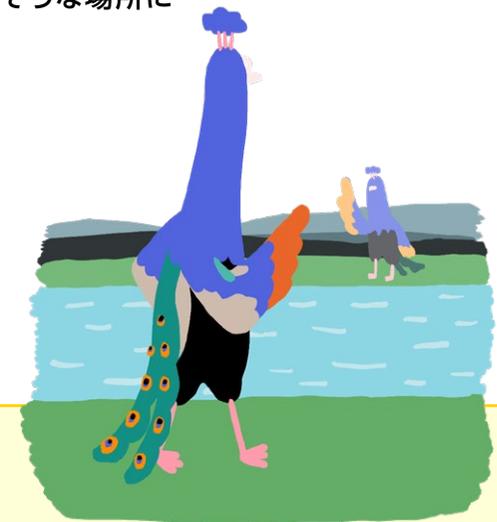
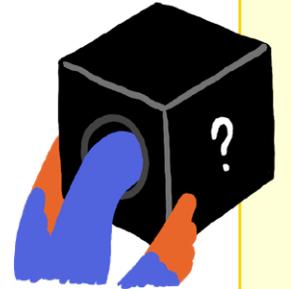
なぜなぜ

もとの情報の作者や作成日など、資料の出所を確認しましたか?  
誰もが発信できるインターネットの情報はすべてが正しいとは限りません。  
資料として信頼できるかどうか、きちんと確認してから利用しましょう。



## 情報収集力アップの3つのポイントを実行しよう!

- **いろんな情報源を活用してみよう**  
インターネット検索だけではなく、図書館などを利用して専門書や雑誌、統計データなども活用しましょう。
- **情報の信頼性をまずは確認しよう**  
情報の作成者や発信元はとても重要! 情報を得るたびにしっかりチェックして、信頼できるものかどうかを確認します。
- **情報を集めに出かけたり、人に会おう**  
情報を集めるときは、調べたい内容に詳しい人に話を聞いてみたり、その情報を集められそうな場所に出かけてみましょう。



## コンピテンシーの伸ばし方の コツをマスターしよう

人と自分にベストな状態をもたらそうとする力・コンピテンシーは、経験・体験をくり返すことを通じて身につけていきますが、特に「今している経験を意識」したり、「コンピテンシーを身につけるステップ自体を意識」したりすることで、より上手にステップアップすることができます。

たとえば、英語が話せるようになったときのことを考えてみましょう。英語の存在自体を知らないときは、自分が「英語が話せない」ことも知らない、これが第1ステップ。次に「英語が話せないことは自覚しているけど、意識しても話せない」、これが第2ステップ。そして、「意識すれば話せる」ようになる第3ステップを経て、第4ステップの「意識しなくても話せる」状態に到達します。でも、当然、すんなり話せるようにはなりません。第2ステップと第3ステップの間を行ったり来たりして、「やってみる→修正する→やってみる」をくり返すことが必要なのです。このステップを意識しながらくり返すことで、やがて、コンピテンシーの達人になれるのです。

コンピテンシーを  
身につけるには  
4段階の  
ステップが重要！

